

インタビューの  
記録から

自分が先頭に立ち、授業をしたり、報告書を作ったりしています。自分としては検討する上でのたたき台になればいいと思っています。

何もないところからは何も作り出せません。「どうする？どうする？」と、だらだらと話合いが続き、研修意欲も減退してしまいます。

自分ではあまり意識していませんでしたが自然と職員室を研修しやすい環境に変えていったのかもしれない。

もし、「この黒板、今度から研修で使わせてください！みなさん活用してくださいね！」といきなり呼び掛けたら、職員の研修意欲は減退したでしょう。

「さりげなく」というスタンスがポイントかもしれません。

## 職員全員の研修意欲を高めたい

そこで

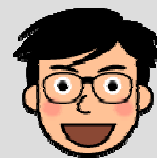
研修主任自ら先頭に立って手本を見せたり、職員室の中を校内研修につながる環境にさりげなくつくり変えたりしましょう。

たとえば

### 自ら先頭に立つ！

- ・自ら先行して授業を行い、経験と実践事例をもって研修内容の提案をしています。
- ・提出してほしい報告書などは、自ら先に報告書を作り、参考にしてもらっています。
- ・研究授業は自分から率先して行うようにしています。
- ・自分が実践した指導方法や授業内容を定期的に紹介しています。

研修主任自ら先頭に立って研究授業をすることで、「研修主任もやっているのだから」という気持ちになり、頑張ろうとする意欲が増します。



教職員の方々の意識

### さりげなく環境を変える！

- ・職員室で授業や児童・生徒の話題を意識して話すようにしています。
- ・職員室の後ろにある黒板をさりげなく研修用として使用しました。例えば、研究授業時の写真や研修の進行状況などを掲示しています。
- ・研修棚を職員が目につきやすい場所に移動しました。
- ・先生方の机の上に新聞の切り抜きや参考になる事例を置いています。
- ・職員が集まるスペースに研修に関する本をすぐに手に取れるように置いています。



さりげなく環境を変えていくことで、押しつけがましくなく、自然に研修意欲が高まっていきます。

教職員の方々の意識